

(別紙様式)

## 平成25年度魅力ある学校づくり調査研究事業ブロック協議会資料

## 都道府県・政令指定都市教育委員会名〔佐賀県教育委員会〕

## 1 拠点校及び連携校

区 分	学 校 名	学級数	児童生徒数
拠点校（中学校）	鹿島市立西部中学校	20（2）	686
連携校 （拠点校中学校区 内の小学校）	鹿島市立鹿島小学校	15（3）	394
	鹿島市立能古見小学校	9（2）	185
	鹿島市立北鹿島小学校	8（1）	192
	鹿島市立明倫小学校	16（2）	453

※学級数の（ ）には、特別支援学級数を内数として記入

※学級数及び児童生徒数は平成25年5月1日現在で記入

## 2 意識調査（アンケート共通項目）

（％）

学校種	学年等	実施時期	児童生徒数(人)	ア 学校が楽しい				イ みんなで何かをするのは楽しい				ウ 授業に主体的に取り組んでいる				エ 授業がよくわかる			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	前年①	650	60.2	32.5	5.8	1.5	62.9	31.1	5.1	0.9	31.4	52.6	14.8	1.2	23.7	57.4	15.8	3.1
		前年②	623	56.3	36.3	5.1	2.2	57.8	35.0	6.1	1.1	32.6	53.5	12.5	1.4	21.0	58.3	17.7	3.0
		本年①	662	64.0	26.6	6.0	3.3	62.2	31.0	4.4	2.4	34.7	51.5	11.0	2.7	26.7	55.3	14.7	3.3
	3	中2①	218	66.1	28.4	4.1	1.4	67.4	28.4	3.2	0.9	32.1	52.8	13.3	1.8	22.0	56.0	18.3	3.7
		中2②	201	65.2	28.4	4.0	2.5	60.2	33.8	4.5	1.5	30.3	55.7	12.9	1.0	20.4	58.2	21.4	0.0
		中3①	216	68.1	23.1	6.9	1.9	65.7	26.9	5.1	2.3	30.6	54.6	11.6	3.2	19.0	63.4	13.4	4.2
	2	中1①	224	63.4	29.9	4.9	1.8	62.9	29.0	8.0	0.0	35.7	47.8	15.2	1.3	30.4	57.1	10.7	1.8
		中1②	221	57.0	37.6	3.6	1.8	58.8	33.0	6.3	1.8	30.8	54.8	13.1	1.4	18.6	61.5	15.8	4.1
		中2①	218	53.7	34.9	7.3	4.1	55.5	35.8	6.0	2.8	34.9	47.7	13.8	3.7	19.3	55.0	22.0	3.7
	1	小6①	228	55.3	37.3	5.7	1.8	60.5	34.6	4.4	0.4	32.0	53.5	13.6	0.9	42.5	44.3	10.1	3.1
		小6②	227	59.9	30.8	7.9	1.3	70.0	26.0	3.5	0.4	39.6	50.2	9.3	0.9	38.3	49.3	10.1	2.2
		中1①	228	70.2	21.9	3.9	3.9	65.4	30.3	2.2	2.2	38.6	52.2	7.9	1.3	41.2	47.8	8.8	2.2
小学校	高学年計	前年①	446	55.4	34.8	7.2	2.7	68.2	26.0	4.9	0.9	35.0	50.9	11.9	2.2	45.5	42.8	8.1	3.6
		前年②	443	55.1	35.2	7.4	2.3	69.5	26.0	3.8	0.7	37.0	50.3	10.6	2.0	38.1	47.9	10.6	3.4
		本年①	435	47.6	35.2	12.9	4.4	59.3	32.0	5.5	3.2	27.4	55.2	14.0	3.4	40.9	45.5	10.8	2.8
	6	小5①	218	55.5	32.1	8.7	3.7	76.1	17.0	5.5	1.4	38.1	48.2	10.1	3.7	48.6	41.3	6.0	4.1
		小5②	216	50.0	39.8	6.9	3.2	69.0	25.9	4.2	0.9	34.3	50.5	12.0	3.2	38.0	46.3	10.6	5.1
		小6①	223	55.2	30.5	10.3	4.0	61.0	30.5	5.8	2.7	26.0	54.7	14.8	4.5	41.7	44.8	10.8	2.7
	5	小5①	212	39.6	40.1	15.6	4.7	57.5	33.5	5.2	3.8	28.8	55.7	13.2	2.4	40.1	46.2	10.8	2.8

学校種	学年等	児童生徒数(人)	オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした				カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられた				キ 叩いたり、けったり、強く押ししたりした				ク 暴力ではないが、いじわるをしたり、イヤな思いをさせた			
			1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	662	84.3	10.3	1.4	4.1	79.6	13.0	3.0	4.4	81.7	11.6	2.7	3.9	78.2	14.7	3.0	4.1
	3年	216	92.1	2.8	0.5	4.6	88.0	6.5	0.9	4.6	90.3	4.6	0.5	4.6	88.4	6.0	0.9	4.6
	2年	218	83.0	11.5	0.5	5.0	74.8	15.1	3.7	6.4	90.3	4.6	0.5	4.6	70.6	18.3	5.0	6.0
	1年	228	78.1	16.2	3.1	2.6	76.3	17.1	4.4	2.2	78.1	17.1	2.6	2.2	75.9	19.3	3.1	1.8
小学校	高学年計	435	55.1	35.2	7.4	2.3	69.5	26.0	3.8	0.7	37.0	50.3	10.6	2.0	49.3	32.4	13.4	5.0
	6年	223	59.9	30.8	7.9	1.3	70.0	26.0	3.5	0.4	39.6	50.2	9.3	0.9	68.5	8.7	18.1	4.7
	5年	212	50.0	39.8	6.9	3.2	69.0	25.9	4.2	0.9	34.3	50.5	12.0	3.2	38.0	46.3	10.6	5.1

※小学校は連携校の合計

※実施時期の第1回(①)は5月ごろ、第2回(②)は12月ごろに実施

※「オ」～「ク」の項目の調査は平成25年度から実施

### 3 課題・目標・取組

課題	分かる授業と良好な人間関係づくりを目指しているが、学習に不安を抱え、居場所がないと感じている児童生徒が多い。
目標	心の居場所のある温かい学級づくりを基盤に、自他の良さを認め、互いに協力して主体的に高め合う児童生徒を育てる。
取組	学び合いを通じた分かる喜びのある授業づくりと、自己存在感、自己肯定感を高める学級づくりや学校行事の充実を図る。

### 4 意識調査結果の分析

#### (1) 好ましいと思われる事項

小・中共通	<p>アについて、中学校1年生で「当てはまる」と回答した生徒が、小6②の59.9%から70.2%と、10.3ポイント増加している。平成24年度に実施した小・中連携の出前授業や、中学校入学説明会での部活動体験、中学校1年生から小学校6年生への学校案内パンフレット配布などの効果が表われたものと考えられる。</p> <p>オ・カ・キ・クのいずれの項目についても、「まったくなかった」と回答した児童生徒が小学校5年から中学校3年生へと学年が上がるにつれて増加している。発達段階に応じて好ましい友人関係を築けるようになっていると共に、小・中共同した心の居場所づくりの取組が効果をあげているものと考えられる。</p>
中学校	<p>アについて、「当てはまる」と回答した生徒が、前年②の56.3%から64.0%と、7.7ポイント増加している。本事業における分かる授業づくり、心の居場所づくりに関わる取組が、全職員共通理解のもとで計画的に実施されてきたことの効果が表れつつあると考えられる。</p> <p>オ・キについて、中学校3年生で「まったくなかった」と回答した生徒がそれぞれ92.1%、90.3%と高い数値を上げている。計画的な道徳・学級活動の取組や、学級行事を通じた取組によって一人一人を大切にしている心情</p>

	の育成が効果を上げているものと考えられる。
小学校	エについて、「当てはまる」と回答した児童が、前年②の38.1%から40.9%へと、2.8ポイント増加している。分かる授業づくりの取組として、全職員で共通理解を図った後、児童の実態を考慮したきめ細かな指導支援体制が、校内研究に生かされ、計画的に実施されたことの効果が現れつつあると考えられる。

## (2) 好ましくないと思われる事項

小・中共通	イについて、小学5年生から中学2年生まで、平成24年度2回目で「当てはまる」と回答した児童生徒の割合より低い結果が出ている。平成24年度より意識調査の実施時期が早く、学校行事が行われる前だったことも影響しているものと考えられる。その後に行われた旅行的行事・宿泊的行事、体育的行事の後にとられた各種アンケートや感想では好ましい結果が見られることから、各種行事を意図的・計画的に実施するとともに、行事に向けた事前指導の必要性を感じている。
中学校	ア・イについて、中学校2年生で「当てはまる」と回答した生徒の割合が、中1②と比べて3.3ポイント低下している。進級に伴う学級編成への不安や、学年スタッフの8割が入れ替わったことへの戸惑いを十分解消できなかったことと考えられる。
小学校	イ・ウについて、小学校5年生では、前年小5①と比べて、いずれも「当てはまる」と回答した児童の割合が低下している。進級に伴う学級編成や、新担任、難易度を増す学習内容などへの戸惑いや不安があったものと考えられる。中学年から高学年への接続について今後の取組の工夫が必要である。

## 5 取組事項

小・中共通	<p>① 全ての児童生徒が、1時間の授業のねらいや取り組み方がわかるような工夫が施された授業を行えるよう、小・中全ての教師同士が授業のねらいや学習の過程を明確にした授業づくりに取り組む。(授業づくり部会)</p> <p>② 小・小連携、小・中連携を深めるための研究授業を相互に公開し、「言語活動」を充実するための指導のあり方を共有する。(授業づくり部会)</p> <p>③ 望ましい学習習慣や生活習慣について示した『鹿島っ子の学び』の定着を図り、学校と家庭のさらなる連携を深める。(連携づくり部会)</p> <p>④ 教師や友人との心の結びつきや信頼感の中で自己肯定感を味わわせるとともに、共同の活動を通して社会性を身に付けるための場づくりを進める。(心の居場所づくり部会)</p>
中学校	<p>① 個に応じて基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、生徒の学習意欲を高め、主体的に学習する授業づくりを目指す。(授業づくり部会)</p> <p>② 学級や学年の実態に応じて、学級活動や学校行事等の指導内容の重点を明確にし、それらの体験を通して、生徒一人一人が自己存在感、自己肯定感を持てる指導と評価の充実を図る。(心の居場所づくり部会)</p>
小学校	<p>① 「学び合い」や少人数指導を通して、児童が「楽しい」「分かった」と感じることで「分かる授業づくり」を目指す。(授業づくり部会)</p>

	② 所属感や連帯感を育み、安心して過ごせる学級づくりを果たすために、児童の間に「温かい人間関係」が芽生えたり「社会性」が育まれたりする場をつくる。（心の居場所づくり部会）
--	---

## 6 取組内容

### (1) 事業実施計画書に記載した月別実施内容

月	小学校で行う主な内容	実施状況	中学校で行う主な内容	実施状況
4月	・全教職員による共通理解（全小）	○	・第1回小・中連絡協議会【小・中合同】 ・事業説明及び校内組織づくり ・第1回連絡協議会（東京） ・中1ギャップアンケート（第1学年） ・新入生歓迎会を通した生徒会活動の充実（生徒会）	○ ○ ○ △ ○
5月	・第1回意識調査（全小） ・ICTの利用による交流授業（全小）	○ ○	・第2回小・中連絡協議会【小・中合同】 ・第1回魅力ある学校づくり調査研究委員会【小・中合同】 ・第1回意識調査（全学年） ・中1・小6担任等による小・中連絡会 ・旅行的・宿泊的行事の企画・運営を通した生徒の活動の充実（全学年・実行委員会）	○ ○ ○ ○ ○
6月	・第1回意識調査集計・分析 ・広報・啓発リーフレット作成 ・中学校からの出前授業（全小） ・市教育長学校視察（北鹿島小）	○ △ △ ○	・全教職員合同研修【小・中合同】 ・第1回意識調査の実施、分析と考察 ・小中合同授業研究会【小・中合同】 ・挨拶運動【小・中合同】	○ ○ ○ ◇
7月	・市教育長学校視察（能古見小） ・小中合同授業研究会（全小） ・中学校からの出前授業（全小）	○ ○ △	・第3回小・中連絡協議会【小・中合同】 ・人権・同和集会の企画・運営（生徒会） ・保護者研修会（講師招聘）【小・中合同】 ・中学校からの出前授業 ・小中合同授業研究会【小・中合同】 ・魅力ある学校づくり調査研究事業にかかわる学校訪問【小・中合同】	△ ○ ○ △ ○ ○
8月			・全教職員合同研修【小・中合同】 ・広報・啓発リーフレット作成	○ △
9月	・運動会を通した児童会活動の充実（全小）		・第4回小・中連絡協議会【小・中合同】 ・体育大会の企画・運営を通した生徒会活動の充実（全学年・実行委員会）	
10月	・市教育長学校視察（明倫小） ・市教育研究大会（鹿島小） ・中学校からの出前授業（全小）		・出前授業 ・西部地区ブロック協議会 ・小中合同授業研究会【小・中合同】	

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回意識調査の実施，分析と考察</li> <li>・文化祭の企画・運営を通じた生徒会活動の充実（全学年・実行委員会）</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校からの出前授業（全小）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市教育研究大会【小・中合同】</li> <li>・第5回小・中連絡協議会【小・中合同】</li> <li>・生徒会役員改選を通じた生徒会活動の充実（全学年）</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回意識調査の実施，分析と考察（全小）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権・同和集会の企画・運営（全学年・実行委員会）</li> <li>・第3回意識調査の実施，分析と考察</li> </ul>
1月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6回小・中連絡協議会【小・中合同】</li> <li>・小中合同授業研究会【小・中合同】</li> <li>・研究紀要作成</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本調査研究事業のまとめ（全小）</li> <li>・中学校からの出前授業（全小）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回魅力ある学校づくり調査研究委員会【小・中合同】</li> <li>・第2回連絡協議会（東京）</li> <li>・新入生入学説明及び部活動見学会</li> <li>・本調査研究事業のまとめ</li> <li>・第7回小・中連絡協議会【小・中合同】</li> </ul>
3月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中1・小6担任等による小・中連絡会</li> </ul>

## （2）8月末までに実施した具体的な取組

### 〔小・中共通〕

#### ③ 望ましい学習習慣や生活習慣について示した『鹿島っ子の学び』の定着を図り，学校と家庭のさらなる連携を深める。（連携づくり部会）

6月と8月の2回にわたって小・中全職員研修会を行った。研修会では全職員を「授業づくり」「心の居場所」「連携づくり」の3部会、それをさらに「分かる授業づくり」「学習習慣づくり」「集団づくり」「生活習慣づくり」「小・中連携づくり」「地域・家庭連携づくり」の6班に分けた。それぞれのテーマに沿って協議を行い，児童生徒の実態や，指導上の困り感，成功事例，失敗事例などを出し合い，今後9年間を見通した児童生徒の育成のために，学習指導・生活指導を行う上での共通理解を図ることができた。今後，協議した内容を元に，『鹿島っ子の学び』としてリーフレットを作成し，全小・中学校及び地域や家庭に配布する予定である。



#### ④ 教師や友人との心の結びつきや信頼感の中で自己肯定感を味わわせるとともに，共同の活動を通して社会性を身に付けるための場づくりを進める。（心の居場所づくり部会）

中学校で生徒会役員が毎朝行っている挨拶運動を小学校でも3日間行った。初日は返す挨拶の音が低かった児童も，2日目，3日目と，中学生の声に負けないよう

に大きな声で挨拶をしたり、ハイタッチをしたりする児童が多く見られるようになった。その後、中学生に負けないように挨拶をしようと頑張る姿が見られるようになった。

〔中学校〕

- ① 個に応じて基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、生徒の学習意欲を高め、主体的に学習する授業作りを目指す。（授業づくり部会）

「言語活動」やICTの利活用を取り入れた授業づくりに共通して取り組むため、指導案の形式に統一性を持たせ、授業研究会を実施し、取組内容の共通理解、共通実践を図った。このことで、教科の枠を越えて授業参観の視点が明確になり、全ての教員が共通の視点で授業研究会に臨むことができ、事後の研究会での協議を深めることができた。また、お互いの教科の指導法の工夫を取り入れ、より分かる授業づくりに取り組むことができるようになった。



- ② 学級や学年の実態に応じて、学級活動や学校行事等の指導内容の重点を明確にし、それらの体験を通して、生徒一人一人が自己存在感、自己肯定感を持てる指導と評価の充実を図る。（心の居場所づくり部会）

ボランティア遠足（1年生）、宿泊研修（2年生）、修学旅行（3年生）のそれぞれの取組で、実行委員会を立ち上げた。実行委員を中心に学級、学年での話し合いを行い、事前の役割分担や、活動計画をたて、生徒同士の関わり合いを基盤とした活動に取り組んだ。この取組を通して、生徒が自分たちの手で行事を企画・運営できたという達成感を感じることができた。また、自分たちで決めたルールやマナーを守るという経験を通して、何のためにルールやマナーが必要なのか、守ることで自分たちの生活がどのように豊かになるのか、といったことを考えることができ、規範意識の向上にもつながった。

〔小学校〕

- ① 「学び合い」や少人数指導を通して、児童が「楽しい」「分かった」と感じることのできる「分かる授業づくり」を目指す。（授業づくり部会）

授業中の集中力を高めるための学習規律の掲示物を全校統一した。「始めと終わりは立腰」と「かじお」の掲示物は、学習習慣だけでなく生活習慣にも関係するので、児童が活動する場としての体育館や特別教室を含めた全部屋に掲示し、指導に活用した。また、「時間割」の掲示物も統一（1・2年はひらがな版）し、小学校6年間を通した環境作りを大事にした。



学習過程の中にペアやグループなど小集団による話し合い活動「なるほどタイム」（北鹿島小）などを取り入れ、自分の考えを明確にし、全体の間でも自信を持って発言したり、友達の意見の良さに触れたりし、学習の確かな定着を図った。

- ② 所属感や連帯感を育み、安心して過ごせる学級づくりを果たすために、児童の間に「温かい人間関係」が芽生えたり「社会性」が育まれたりする場をつくる。（心の居場所づくり部会）

コミュニティスクールの特徴を生かして、地域の方に学校に来ていただくことが多かった。火曜日の朝7時半からは、地元の「藤の森クラブ」の方と一緒に運動場でグラウンドゴルフを行った。異学年・異世代での交流を図ることができた。この他にも、お話し会の方に来ていただいたり、登下校の見守りをしていただいたりしている。6月には、登録されているボランティア団体や個人の方との「出会いの会」を行った。(明倫小)



1年生を迎える会の後、1年生と6年生、2年生と5年生、3年生と4年生でペアを作り、蟻尾山公園へ遠足に出かけた。一緒に歩きながら話したり、グループでお弁当を食べたり、一緒に遊んだりして楽しい時間を過ごすことができた。(鹿島小)



## 7 8月末までの取組状況と課題（第1回意識調査結果を踏まえた内容を含む）

### （1）順調に進んでいる事項

小・中共通	① 全ての児童生徒が、1時間の授業のねらいや取組方がわかるような工夫が施された授業を行えるよう、小・中全ての教師同士が授業のねらいや学習の過程を明確にした授業づくりに取り組む。(授業づくり部会)
中学校	① 個に応じて基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、生徒の学習意欲を高め、主体的に学習する授業作りを目指す。(授業づくり部会)
小学校	① 「学び合い」や少人数指導を通して、児童が「楽しい」「分かった」と感じることでできる「分かる授業づくり」を目指す。(授業づくり部会)

### （2）課題となっている事項

小・中共通	③ 望ましい学習習慣や生活習慣について示した『鹿島っ子の学び』の定着を図り、学校と家庭のさらなる連携を深めるためのリーフレットの作成。
中学校	② 学級や学年の実態に応じて、学級活動や学校行事等の指導内容の重点を明確にし、それらの体験を通して、生徒一人一人が自己存在感、自己肯定感を持つ指導と評価の充実を図るための取組。
小学校	① 「学び合い」や少人数指導を通して、児童が「楽しい」「分かった」と感じることでできる「分かる授業づくり」を目指すための指導法の工夫・改善を行い、さらなる充実を目指す。

## 8 9月以降の重点推進事項

小・中共通	② 小・中連携の出前授業の実施とその授業の公開。 ③ 9年間を見通した指導の重点項目の作成（リーフレット）と家庭や地域への発信。 ④ 児童生徒一人一人に居場所や活躍の場がある学校行事の推進。
中学校	① 生徒一人一人が1時間や1単元の中で「分かった」「できた」と感じることができる「分かる授業づくり」の実践と、授業研究会の実施。

	② 体育大会や文化祭の取組を通して生徒一人一人が自己存在感，自己肯定感を持てる指導と評価の充実を図るための取組の充実。
小学校	① 話す・聞くスキルを身に付けさせる取組，基礎学力向上のための国語・算数の「まなびタイム」，学習習慣づくりなどの指導の充実。

## 9 教育委員会の取組

### (1) 市町村教育委員会

#### 〔重点推進事項〕

- ・ 本事業の成果について周知を図る。
- ・ 事業が進めやすい環境づくりに取り組む。

#### 〔成果と課題〕

- 全員研修会を2回開催し，本事業について全教職員に直接丁寧に周知することができた。その結果，中学校区が一体となって取り組んでいこうという気運が高まっている。
- 研究組織を3部会6班に分け話し合いを行うことによって，全教職員が所属意識をもって具体的に何をすべきか理解した上で事業に取り組んでいけるようにした。
- 不登校未然防止の取組を市全体へ広めていく。

### (2) 都道府県教育委員会

#### 〔重点推進事項〕

- ・ 2/2年次の研究成果を県内に広く紹介する。
- ・ 定期的に鹿島市教育委員会と連携をとることで，随時適切な支援を行う。

#### 〔成果と課題〕

- 不登校対策専任者会，不登校対策に係る関係中学校校長会，生徒指導に係る学校訪問等において，本校区の取組を紹介した。今後も各種会議等で紹介していく。
- 本地区の取組に対する適時的支援が不十分であった。鹿島市教育委員会との連携とともに、教育事務所との連携も充実させる必要がある。

## 10 関連URL（※本事業に関連するものがあれば，ご紹介ください。）

鹿島市教育委員会	<a href="http://www.city.saga-kashima.lg.jp/main/5037.html">http://www.city.saga-kashima.lg.jp/main/5037.html</a>
鹿島市立西部中学校	<a href="http://www3.saga-ed.jp/school/edq14652/">http://www3.saga-ed.jp/school/edq14652/</a>
鹿島市立鹿島小学校	<a href="http://www2.saga-ed.jp/school/edq14601/home.htm">http://www2.saga-ed.jp/school/edq14601/home.htm</a>
鹿島市立能古見小学校	<a href="http://www2.saga-ed.jp/school/nogomi/">http://www2.saga-ed.jp/school/nogomi/</a>
鹿島市立北鹿島小学校	<a href="http://www2.saga-ed.jp/school/n-kashima/">http://www2.saga-ed.jp/school/n-kashima/</a>
鹿島市立明倫小学校	<a href="http://www2.saga-ed.jp/school/meirin-e/">http://www2.saga-ed.jp/school/meirin-e/</a>

### 【問い合わせ先】

所属	佐賀県教育庁学校教育課		電話	0952-25-7363	
職名	指導主事	氏名	吉岡 浩一	よみがな	よしおか こういち